

## 糖尿病患者では冠動脈バイパス手術の方がステントより心筋梗塞の発症、死亡が少ない

糖尿病で、多枝冠動脈疾患のある患者を薬剤溶出ステントとバイパス手術にランダム（無作為）化し割り付け最低 2 年間観察した。主要評価項目（エンドポイント）は、死亡、心筋梗塞、脳卒中とした。2005-2010 年の間、140 の施設で 1,900 人が登録された。平均年齢は 63.1 歳で 29%は女性で、83%は冠動脈の 3 枝病変があった。

主要転帰は、ステント群で 26.6%、バイパス群で 18.7%でステント群が多かった。バイパス手術群では、死亡、心筋梗塞は少なかったが、脳卒中は 5.2%とステント群の 2.4%に比べ多かった。

（出典：New England Journal of Medicine 2012; 367:2376-2384）